

平成23年1月7日

各 位

会社名 株式会社外為どっとコム
所在地 東京都港区東新橋2丁目8番1号
代表者名 代表取締役社長 小杉昭徳

代表取締役の異動に関するお知らせ

前代表取締役社長である大畑敏久氏の退任に伴い、平成22年12月29日開催の臨時株主総会にて新たに取締役に選任された小杉昭徳氏(前監査役)が、同日付で代表取締役社長に選任されましたので、お知らせいたします。なお大畑氏は、同日付で当社特別顧問に就任しております。

記

1. 異動の理由

前代表取締役社長である大畑氏の退任、および特別顧問への就任のため。

2. 新任代表取締役の氏名および略歴

小杉 昭徳(こすぎ・あきのり)

昭和36年(1961年)2月20日生(満49歳)

昭和58年(1983年)3月 慶應義塾大学商学部卒業

昭和58年(1983年)4月 株式会社東海銀行(現・株式会社三菱東京UFJ銀行)入行

平成17年(2005年)3月 株式会社メイタン・トラディション代表取締役専務(現任)

平成22年(2010年)6月 当社監査役

3. 異動年月日

平成22年12月29日

4. 新任代表取締役のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年末、大畑敏久前社長の後任として弊社「外為どっとコム」代表取締役社長に就任いたしました、小杉昭徳でございます。これまでは監査役として弊社運営に携わってまいりましたが、今後は新たに代表者の立場として、弊社の経営の根幹を担ってまいります。

大畑前社長は2002年の会社設立時から約9年の長きに渡って、弊社の代表取締役を務められました。設立当初わずか600口座、預かり資産7億円あまりと本業界でも平均以下の水準にあった弊社を、本邦におけるFXの普及を先導するかのごとく急発展の軌道に乗せ、現在では口座数・預かり資産とも6年連続で本業界No. 1※となるまでに導いた経営者であります。そうした大任を引き継ぐことは身に余る光栄であるとともに、身の引き締まる思いでは

ありますが、これまで得た知識と経験とを動員し、その名に恥じぬよう粉骨砕身の一心で任務を全うする所存です。

皆様もご承知のように弊社では、昨年夏から秋にかけてシステム障害を頻発したことから、同年9月には業務改善命令および業務停止命令を受け、翌月1ヵ月間を通じ一部FX取引業務を停止いたしました。またシステム障害の抜本的解決策として、弊社FXサービスのうち『FXステージ』の提供を、本年3月をめどに終了させていただく旨を決定しております。これら一連のできごとが社会の皆様へ与えた影響、とりわけ弊社FXサービスをご利用のお客様方へおかけしたご迷惑の数々は甚大なものであり、私どもが今後の活動において片時も忘れることなく肝に銘じるべき事項であると認識しております。

弊社では業務停止明けの昨年11月1日を「新生・外為どっとコム」第二の創業日と位置づけ、信頼回復を至上課題にできる限りの作業に専念しておりますが、本年はいよいよその真価が問われる一年になるものと存じております。皆様からの信頼に値する金融サービス企業として弊社に強く求められることは、まずは新体制を象徴する厳格なシステムリスク管理態勢下での取引システムの安定運用であり、そしてお客様のニーズに即したFXサービスのさらなる機能向上の実現でございます。その一環として弊社では、先般リリースした「スピード注文」のほか新ツールの開発を並行して進めており、いくつかのものは近日中に皆様のお目にかかれることと存じます。また、本年最初の課題である『FXステージ』ポジション・ご資金の『外貨ネクスト』口座への移動機能につきましても、まもなく提供できる見通しです。

いったん失墜した信頼の回復は、極めて険しい道程であり、近道も迂回路もありません。いま私どもにできることは、一人でも多くの投資家の皆様より高い評価を頂戴できるようなFXサービスの提供を通じ、ひたすら実績を積み上げてゆくことです。それは弊社が創業以来歩み続けてきた道であって、再び立ち返ることは決して難しくはないと私は考えております。まずは私ども全役職員が一丸となって課題に立ち向かい、乗り越えることで「新生・外為どっとコム」の新しい歴史を築いてゆけるよう、全力を尽くしてまいります。

本年も、なにとぞ変わらぬご支援とご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

以 上

※ 外国為替保証金(証拠金)取引業界における「口座数」「預かり資産」の2部門。期間2010年3月までの6年間。参考資料:(株)矢野経済研究所『2010年版 FX(外国為替証拠金取引)市場の動向と展望』